科目名	母性看護学課題研究Ⅲ Special Research Ⅲ in Maternity Nursing	担当教員 (研究室番号)	大平肇子（104）	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 後期	科目区分	専門科目	選択区分	分野必修	単位数 (時間)	2(30)	授業形態	特別研究	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的		研究計画に従って収集したデータの分析を行い、得られた成果について考察し、特定課題の論文をまとめ学位申請を行う。また、修士論文（特定課題）発表会、学位論文審査および最終試験の過程において的確なプレゼンテーションと討議ができる能力を養う。
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ(DP)	主要なDP	６．看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。 ７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。 ※臨地教育者コース：６　専門看護師コース：７
	関連するDP	３．地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追究していける研究能力を身につけている。
到達目標		１．得られた結果を整理して図や表等により提示することができる。 ２．分析した結果を考察し、課題論文としてまとめることができる。 ３．課題論文としてまとめた内容を学内の論文発表会で報告し、質疑に応答することができる。

成績評価方法 (基準)	課題論文（80%）、修士論文発表会での発表（20%）
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要時に提示する。
受講者へのメッセージ	
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。

学　習　内　容

【到達目標１について】
・得られた結果を分析し、結果を導き出す。
・結果については、必要に応じて図や表を作成する。作成にあたっては第三者からも理解できる内容にするように努める。

【到達目標２について】
・文献をもとに結果を考察し、明解で一貫性のある課題論文としてまとめる。
・修士論文作成要領に則り、課題論文を適切に作成する。

【到達目標３について】
・作成した課題論文をもとに修士論文発表会での発表内容をパワーポイントの資料として作成する。
・資料中に用いる図や表などは修士論文発表会に適した様式に修正する。
・修士論文発表会での質疑に自己の見解を踏まえ応答する。

【各到達目標の共通事項】
・結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。